

議員一般選挙

就任にあたり

八潮市長

鈴木泰治



任期満了に伴って八潮市議会議員一般選挙が、9月13日に行われます。

今回の選挙は、私たちの代表者を選ぶ最も身近で大切な選挙です。

明るく住みよい郷土をつくるために、棄権せず良識ある一票を投じましょう。

午前7時から 午後6時まで

日程

八潮市議会議員一般選挙は、次の日程で行われます。

投票日 9月13日(日)
午前7時～午後6時

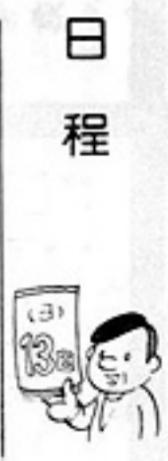
告示日 9月3日(木)

登録基準日 9月1日(火)

登録日 9月2日(水)

選挙人名簿縦覧期間
9月3日(木)～5日(土)
午前8時30分～午後5時
(土曜日と同じ)場所は
市役所二階選挙管理委員
会で行います。

開票日 9月14日(月)午前8時
より八潮市文化スポーツ
センター体育館



このたびの八潮市長選挙におきましては、皆様の暖かいご支援ご厚情をいただき三たび八潮市政を担うことになり、その責任の重大さを痛感いたしております。

皆様から寄せられた信頼と期待に応えるため、これまでの行政経験を生かし新たな決意をもって将来を展望し、計画行政を推進し、お互いの心豊かな住みよい八潮のまちづくりのため渾身の努力をいたす所存であります。

私は、就任後の八潮市政を進めるにあたり四つのテーマのまちづくりを市政運営の基本にと考えております。

まず、環境整備面では、近郊都市としての基盤づくりを第一に、八潮のおかれている自然環境や特異な地勢、首都隣接の立地の条件、急激な都市化の弊害等、この問題解決のために総合的な整備計画を進め八潮のまちづくりのために努力いたします。

心豊かな住みよいまちづくりを

第二として、うるおいのあるまちとするため教育の内容充実、文化・スポーツの振興のために力を尽くしてまいります。

教育や文化は、個性と豊かな心を育てるものであり、学校教育はもっとも中心になりますが、それ

また、現在社会のゆがみや、このころのすさんだ社会に「人の心」を呼び戻すことも重要な課題でありますので、文化活動やスポーツ活動を通じてお互いの人間交流、コミュニケーション、連帯意識を高め八潮の新たな時代を築く施策

のみで目的が達成できるものではありません。

家庭教育や社会教育も重要であり、人それぞれの年代に応じた真の生き甲斐に満ちた生活と健康で主体的、創造的活動が必要であります。

体の不自由な人のために

郵便での投票

郵便による不在者投票の制度は身体障害、疾病などの理由で、選挙当日に自分で投票所に行つて投票できない有権者が、自宅などで投票の記載ができるものです。

投票できる人

身体障害者手帳または戦傷病者手帳を持っている選挙人で、次のどれかにあてはまる人です。

一 身体障害者手帳に

(1) 両下肢か体幹の障害が一級、または二級

(2) 心臓、じん臓、呼吸器の障

八潮市明るい選挙推進協議会役員名簿

会長	秋山 佐吉 (二丁目)
副会長	戸代谷 隆一 (八条)
"	峰岸 鉄太郎 (大瀬)
"	野口 和子 (大曾根)
幹事	斉藤 武夫 (鶴ヶ曾根)
"	千原 軍之助 (鶴ヶ曾根)
"	大野 幸子 (八条)
"	木村 満寿子 (木曾根)
"	石田 庫次郎 (大瀬)
"	椿 智子 (木曾根)
"	小沢 利喜子 (西袋)
"	田浦 文江 (大原)
"	森田 元吉 (大曾根)



■八潮市明るい選挙推進協議会■
推進員が76名に

昭和37年6月に八潮市明るい選挙推進協議会が発足して以来、19年目を迎えます。ところで、今まで100名の推進員でしたが、4月より76名の推進員で、明るい選挙推進運動を進めてゆくことになりました。

第三として、しあわせな社会をつくるためには健康で安全な毎日を送ることであり、文化的な生活が保障され、生活の安定向上が図られる社会こそ真の福祉社会と呼ばれるものであります。

過ぎ去った時代の福祉からより公正な真に公的扶助を必要とする社会的弱者に対する救済と、地域全体の人々の助け合いと思いやりの上に立った福祉の重要性が大きく叫ばれています。

また市民全体、老いも若きも健康であることは誰もが望むところでありますので、このための施策も強力に進めてまいります。

最後に、自治体の財源不足は厳しい実状にあり、住みよいまちづくりの達成には、行政側の努力のみならず市民の皆さんの意見等も十分尊重しつつ、各事業を押し進めてまいりますと考えています。

第四の秩序と調和のある地域産業の栄えるまちづくりについては、大変困難を伴いますが、これは八潮市の最重点施策としての都市基盤整備や環境整備と一体となり、生活環境と生産環境をいかに秩序と調和あるものにするかが基本的課題であります。

その中で八潮市の農業、工業、商業を振興し発展を図らなければなりません。



ま

ち

の

わ

だ

い



鈴木市長初登庁

任期満了に伴ない行われた八潮市長選挙において当選（無投票）した鈴木泰治市長は、7月21日（火）選挙後初めて登庁し、女子職員より祝福の花束を受けました。



コーチを招き水泳教室

—第十小学校—

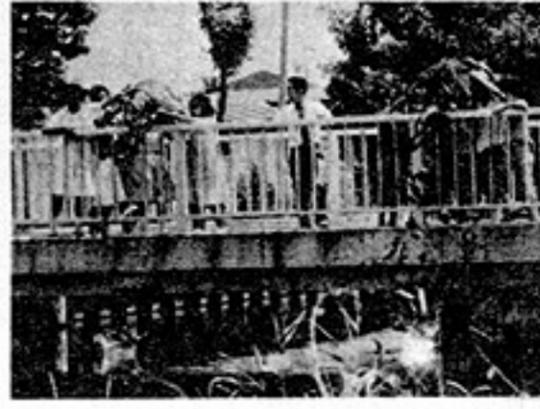
同校では7月8日（水）9日（木）の両日、水泳実技講習のため匂坂尚平氏をコーチとして招き、水泳教室を開きました。



野菜即売会

—青耕会主催—

7月16日（木）、市役所前庭において野菜即売会が行われ大勢の方が詰めかけました。当日は、市価の2～3割安ということとでダンボール箱で買う人もおりアツという間に売り切れしました。



鯉70kgを放流

—第五小児童により—

南部葛西用水三市連絡協議会では7月16日（木）、第五小学校の児童の協力により、葛西用水に新川西歩道橋から鯉70kgを放流しました。

—農地行政に貢献された三氏— 埼玉県知事より感謝状

6月23日（火）、大宮の埼共連ビルで行われた農業委員会法施行30周年記念大会の席上において、恩田理三郎氏、小沢正一氏、会田誠二氏は長年にわたり農業振興のため献身的な努力を尽された功績により、埼玉県知事より感謝状が贈られました。

恩田理三郎氏
（二丁目）



小沢正一氏
（坊）



会田誠二氏
（八条）



高橋賢蔵氏（古新田）



7月20日（月）、同氏は多年にわたり地区衛生組織の育成に献身的に努力された功績により、浦和の衛生会館で行われた埼衛連定期総会の席上において、表彰の栄に浴しました。

なくそう差別私たちの町から職場から

人間は、だれでも、自由や平等を願い、幸福な生活を求めています。こうした願いが、人間の生きる権利として確立されるまでには、人類の長い歴史の中で、多くの人たちのなみなならぬ努力があったわけです。したがって、私たち人間の歴史は、これらの願いを実現するための長い営みであるとも言えます。

日本国憲法は、すべての国民が自由に、そして平等に幸福を求めることができるよう人種、信条、性別、社会的身分、または門地により政治的、経済的または社会的関係において差別されないことを基本的人権として保障し、これを最大に尊重すべき旨を宣言しています。

この差別と人権の問題を特に取り上げたのが、憲法第十四条の法の下での平等であり、どんな差別が人権を侵害しているかをみ

「人権と差別」

問題

同和

10

てみたいと思います。
○人種による差別、黒人や朝鮮中国の人々などに対して人種がちがうとか異民族だからといって差別的な見方をする。
○信条による差別、右翼とか、左翼とか、主流とか反主流とかによって、不利におとし入れようとする。
○性別による差別、女であることとから、何事によらず社会的な地位が、男性と平等にはなりにくいとする。
○社会的身分による差別、役職（社長、社員）によって、地域の人の見方、扱い方が違う。
○門地による差別、生まれつきの家柄によるもので、結婚のときなど、よく問題になる。

このほか、学歴による差別、身体障害者に対する差別、貧困に対する差別、母子家庭に対する差別、などいろいろあります。

これらの差別の中で、基本的人権がいちじるしく侵害され、最も深刻なものが部落差別です。部落差別とは同和地区（被差別部落）の生まれであるということによって受ける差別ですが、この差別は江戸時代、幕府が政治的につくった身分制度が原因となっており、今日まで残されている問題であり、私たちの基本的人権にかかわる重大な社会問題であります。

「なくそう差別
私たちの町から職場から」
（さくら草より抜粋）